

## 学位論文審査の結果の要旨

沖 友香

本研究は、高知県における園芸植物産地で発生した、センリョウ葉枯症状、ユズエクボ症、ミョウガ葉鞘腐敗症状、トルコギキョウ立枯症状の4つの障害の原因菌を明らかにし、制御対策の構築を行ったものである。以上の研究成果は、植物病理学のみならず農学において重要な知見であり、植物保護などの応用面に寄与するものである。

これらの成果は、Journal of General Plant Pathology 誌1編に公表されたばかりか、高知県農業技術センター研究報告2編にまとめられた。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。